

三本木 歓「小須戸 ART プロジェクト 2022」レポート

今回、私は小須戸の「三・八市(六斎市)」をテーマに、約一週間程の滞在調査を行いました。出店するお店の空間的配置、組立て方法・工夫といった仮設建築的視点をもとに、写真やインタビュー、スケッチ、映像などで記録を集めていきました。

東京を拠点に活動している私にとって、定期的に行われる露天市(例えば小須戸の三・八市の場合は3と8のつく日に開催)というものはなかなか馴染みがなく、いわゆるフリーマーケットや蚤の市ともまた違ったその土地ならではの様子がそこにはあるのだろう…とそんな思いを胸に小須戸へと向かいました。

小須戸に来た次の日の朝、さっそく市場へと向かいました(2022/9/8)。

ぽつぽつと広場に売荷を積んだトラックが入ってきて、それぞれの決まった位置に徐々にテントが建ち始めます。地面には竹や鋼管を挿すための穴が所々に設けられていて、それぞれのテントの柱は基本的にはその穴を利用して建てられていきます(まるで縄文時代の掘立て柱の住居みたいです)。

テントのサイズや建て方もそれぞれ少しずつ違って個性があり、売り物の種類や数量、売り手の年齢などによりその差異が生まれてきます。少し目を離す間にあちこちで屋根まで出来上がり、その風景は時には生き物のごとく、風に揺らめきながら買い物客を迎え入れます。

11 時頃には露天市は閉じ、全てのテントがたたまれ、広場はまたもとのように静かに、地面には無数の柱穴だけが残されていました。



三・八の市 (小須戸)



仮設テントに使う竹や板の保管場 (小須戸)



地面にあけられた柱穴 (小須戸)

翌日 9/9 は小須戸の露天市との比較対象として、白根の露天市へと向かいました(白根の「四・九市」)。小須戸と同じかそれよりすこし少ないくらいの規模で、テントは食品スーパー沿いの横道に建ち並んでいました。

道路の上なので、当然地面には柱穴は開けられず、テントは電柱や車の屋根、スーパーの駐車場の柵などを介してロープで引っ張り合いながら、あるいは向かい合うテント同士でトンネルをつくるかのように結合しながらバランスを取っています。その他にもテントを張るためにコンクリート製の重石を用意している方がいたり、特注の鉄製の骨組みを持参している方もいました。

当初の計画では約一週間の滞在の内、2 日間を小須戸の露天市、もう 2 日間を白根の露天市、そして残りの 3 日を資料調査やインタビューに充てようと考えていましたが、もう少し大局的にそれぞれの地域のテントの様子を知りたくなったのもあり、滞在中にちょうどスケジュールの合う新津(「一・六市」)、酒屋(「二・七市」)、加茂(「四・九市」)にも調査範囲を広げてみることにしました。

地理的にも小須戸を中心に新津、白根、加茂、酒屋がおおよそ東西南北の並びでぐるっと囲うように並び、日程及びエリア的にもいい塩梅で滞在調査を実施できたと感じています。



四・九の市 (白根)



特製の鉄製の骨組み (白根)



一・六の市 (新津)



二・七の市 (酒屋)

紙面の都合上ここでは詳細を省きますが、小須戸と同じ広場タイプの新津露天市、河の土手下にちぢんまりと並ぶ酒屋露天市、駅近と川沿いの2つのエリアをもつ加茂露天市。それぞれの市場がその土地ならではの様相を呈しながら、日常の風景の中に穏やかに溶け込んでいました。



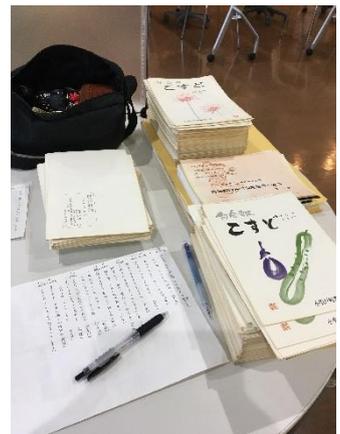
四・九の市（加茂）

さて、次回の小須戸アートプロジェクトでは、露天市の調査を私なりに再解釈したイメージを空間インスタレーションとして提示したいと考えています。実地調査と並行して行ったインタビューやスケッチ、郷土資料等も混ぜ合わせながら作品の物語性を展開していけたらと思っています。具体的なプラン



市で購入した食品類（茄子、蓮根、梨、ホシコ（小さい煮干し）、茄子漬、カキノモト等）

はまだまだこれから、小須戸での滞在を折に触れ振り返りながらゆっくりと練っていきたいとは思いますが、「露天市への飛び入り出店(何を売るかはわからない…)」や「市場の裏手にある使われなくなったいい感じの木造倉庫を使ってみたい…」など、いくつかの現地で得たヒントは制作の取っ掛かりになっていくと感じています。



資料調査（小須戸町俳句同好会の会報誌から、市を詠んだ句を調査した）

この度は露天市に出店されてる方をはじめ、小須戸のみなさまには大変お世話になりました。また、次回お会いできることを楽しみにしております。ありがとうございました。

さんぽんぎ かん
三本木 歓

東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。場所のもつ固有の文脈や空間的な特質、既存のイメージ等を主題に多様な手法で作品制作を行っている。第28回日本建築学会優秀修士論文賞受賞。



船窪トポリサイタル